

学校 教育 目標	力を合わせ笑顔が光る日限の子 ～互いを思いやり認め合い、進んで活動できるようにします～ ○学ぶことの意義や楽しさを感じながら、「意欲的に学び続ける力」を育みます。(知) ○相手の立場や気持ちを思いやって行動できる「優しさ」を育みます。(徳) ○健康を保持増進させる態度や、心身ともに「たくましく生きる力」を育みます。(体) ○まちがより良くなるために、自分ができることを考え、友達と「力を合わせて行動する態度」を育みます。(公) ○価値観が異なる相手ともコミュニケーションを図りながら、「共に生きていく力」を育みます。(開)				
	学校 概要	創立 47 周年	学校長 岡崎 陽子	副校長 武石 博行	2 学期制 一般学級: 15 個別支援学級: 3 児童生徒数: 480 人 主な関係校: 日限山中学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>	日限山中学校 日限山小学校 南舞岡小学校	探究する心を醸成して、横浜の未来を担う豊かな人間性と創造性をそなえた子どもを育てます。～知りたいと思う気持ちを大切に、分かったという喜びにつなげます。分かったという喜びを重ねて、探究する心を育てます。～ ・何事にも前向きに取り組み、自己実現のための努力を続ける子ども ・自他の生命を尊重し、思いやりのある行動ができる子ども ・学校、地域、社会の仕組みを知り、積極的に関わろうとする子ども

中期 取組 目標	一歩先を見通すことが出来る豊かな知恵と豊かな心を巧みに生かし、夢いっぱい未来のまちを創り出そう ○教職員による見取りや学校評価アンケート結果などを吟味して、子どもたちの資質・能力を高めます。 ○「三つのつながり」「教科等横断的な視点に立った教育」「多様性を踏まえた教育」「学校間等のつながりを重視した教育」を大切に「自分づくり」につながる日限山小学校の教育課程を追究し、授業改善に努めます。 ○自信をもって自分の考えを仲間に伝えられる学習環境を整備し、豊かな知恵と豊かな心の育成につなげます。 ○近隣校との連携や地域施設や団体との連携を進めて、まちの一員としての態度・姿勢を育みます。 ○挨拶や整理整頓など基本的な生活習慣習得を大切にし、「友達や自分自身」も大切に出来る子どもへと育てます。
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 重点研究部	c1①相手意識や目的意識を明確にした単元づくりを通して、自信をもって表現できる子どもの育成を目指す。②指導と評価の一体化を図り、授業づくりに生かしていく。
豊かな心 担当 たてわり・環境委員会	c2①たてわり活動を通して異学年同士のつながりを増やし、友達のよさを認め、思いやりのある子どもを育てる。②「あじさい」活動に取組むと共に、教職員が率先して挨拶を行い、習慣化する。③教職員自ら人権感覚を磨き、年間を通して人権を大切にする取組を実施し、保護者にも発信する。
健やかな体 担当 安全・健康部	c3①感染症対策を継続し、安全に学校生活を送れるようにする。②学校保健委員会や給食委員会の取組を通して、子ども自らが怪我や病気を予防したり栄養バランスを考えて食べたりできるようにする。③外遊びの奨励、スポチャレタイムや体力アップ週間を通じた運動の習慣化を図り、体力の向上を目指す。
自分づくり教育 担当 特別活動(B研)	c4①自分づくりパスポートを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行い、「自分づくりに関する力」を高められるようにする。②友達と協力し認め合いながら、自分のよさを生かして活動する場面を設定し、自己肯定感を高められるようにする。
教育環境整備 担当 安全・健康部	c5①子どもが安全・安心に過ごすことができる教育環境を整備する。②安全に関する職員研修や定期的な安全点検を行い、職員の安全に対する意識を高める。③「命を守るのは自分である」という意識を子どもがもつことができるように実際に想定した避難訓練を実施し、きめ細かな指導を行う。
地域連携・ 学校運営協議会 担当 渉外担当	c6①生活科や総合的な学習の時間、学校行事を中心に、地域とのつながりを深め、まちの一員としての意識を育てる。②学校運営協議会を通じて保護者・地域がより連携を強め、日限山中学校ブロックとして具体的な取組を工夫する。③地域学校協働本部を通じて地域の力を教育活動に生かしていく。
児童指導 担当 児童指導・人権委員会	c7①全職員が「日限山小スタンダード」を共有し、児童指導に当たる。②児童理解全体会、いじめ防止対策委員会等を通して、全職員で子どもたちの実態を共通理解し、日常の指導に生かす。③多面的に児童を見取り、一人ひとりのよさを認め、価値づけることで、自己有用感を育むようにする。
特別支援教育 担当 特別支援教育校内委員会	c8①一般学級と個別支援学級の連携を強化し、双方にとって意義のある教育活動になるようにする。②一般学級において、誰にとっても分かりやすいユニバーサルデザインを取り入れた指導を心がける。③児童の発達に関する教職員研修を実施し、子どもへの理解を深める。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	c9①いじめ防止対策委員会や研修を通して、いじめに対する全職員のアンテナを高くし、日頃からいじめは許さないという姿勢を全職員で示す。②児童支援専任、養護教諭と担任等との連携を密にして指導・支援にあたる。③子どもの些細な変化を捉え、問題の迅速な解決に努める。保護者への連絡は丁寧に行う。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 メンター研・職員研修担当	c10①学年研やブロック研、校内研修を通して、教職員の教科指導・児童指導・危機管理・人権意識等の教師力を高める。②メンターチームを活用し、経験の浅い教員の指導力向上と組織対応の充実を図る。③教職員一人ひとりが、終業時刻を意識して業務を進めるよう、教務会から、適宜、発信していく。